

## 復興祈念公園の理念・考え方

復興祈念公園は、犠牲者への追悼と鎮魂、震災の記憶と教訓の伝承、復興への強い意志の発信等を目的とし、国と地方が連携して整備。

国の方針により、岩手県、宮城県、福島県にそれぞれ1箇所ずつ整備することとなっており、県の設置する復興祈念公園内の一部に、国が中核的施設となる丘や広場等を整備。

## 選定の視点

復興祈念公園の整備方針に適合した上で、上記の理念の具現化はもとより、本県の復興の重要なシンボルの一つとなるよう、選定に当たって以下の視点を重視する。

- 国の整備方針と適合していること。
- 津波被害等が甚大であり、犠牲者が多く追悼の場として妥当性があること。
- 沿岸部かつ被災が実感でき、震災の記憶と教訓を伝承する場としての妥当性があること。
- 土地の形状や規模に、復興祈念公園としての妥当性があること。
- 用地の確保が容易であり、早期の着手が可能であること。
- 交通アクセスが良好で、県内外から来訪しやすいこと。
- 近隣に他の震災遺構を有するなど、回遊・見学が可能であること。
- 市町村に他の復興拠点施設が存在しない・少ないなど、復興祈念公園が復興を牽引する施設として貢献度が高いこと。
- 公園に近接する他の市町村等施設によって公園の機能や魅力が増進される見込みがあること。